



大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン

~3つの視点で地域をつなげる~

国土交通省 近畿運輸局 国土交通省 近畿地方整備局 一般財団法人 関西観光本部

コロナ禍前の関西観光の状況





コロナ禍までの関西観光

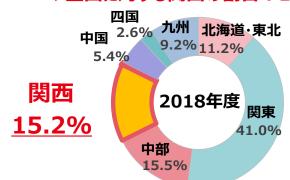
- これまで、人口減少下にある関西経済において、観光(特にインバウンドによる旅行消費)が地域経済を牽引してきた。
 - ▶ 日本のGDPに対する関西の域内総生産の割合

15.2%(2018年度)

- ▶ 訪日外国人旅行消費額で全国に対する関西の割合 28.8% (13,873億円、2019年)
- 一方で、人気の高い<u>京都・大阪への集中による混雑</u>や関西への<u>訪日旅行者数の70%以上を東アジアが占めるなどの偏り</u>が、 将来に向けた関西観光の発展の大きな課題となっていた。



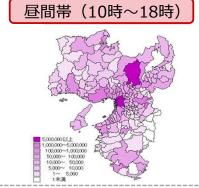
◆全国に対する関西の割合:15.2%



出典:内閣府県民経済計算より 近畿運輸局が作成

【訪日外国人昼夜間滞在者分布(2019年)】

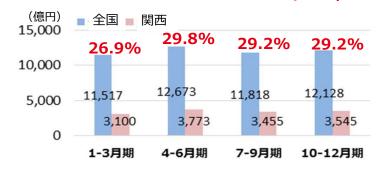
◆訪日外国人は、昼間の活用時間帯及び夜間の宿泊時間帯 ともに京都市と大阪市に滞在者が集中している





【訪日外国人旅行消費額(2019年)】

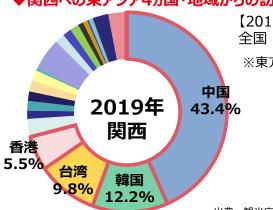
◆全国に対する関西の年間:28.8% / 13,873億円



出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

【関西の訪日外国人旅行者割合(2019年)】

◆関西への東アジア4カ国・地域からの訪問者数 約937万人 (70.9%)



【2019年の訪日外国人旅行者数】 全国: **3188.2**万人 関西: **1319.9**万人

※東アジア4ヵ国・地域(中国・韓国・台湾・香港)



出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」により近畿運輸局が作成 複数回答のため府県別の合計と関西の数値は異なる

現在及びこれからの関西観光





現在の関西観光

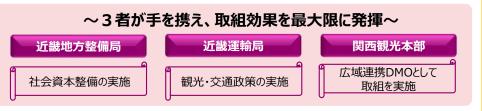
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入国制限で、訪日外国人旅行者はほぼゼロとなり、観光事業者、交通事業者への影響は甚大なものとなっている。一方で、コロナ禍を経て観光トレンドの変化や需要の高まりとともに、2022年10月より水際措置の大幅緩和などを受け、需要回復の動きも見込まれる。
- 関西経済を回復させるにはコロナ禍前と同様に多くの観光客を受け入れることと、 高付加価値化等によってその旅行消費を拡大させることが必須であり、 そのための取組を関西の関係者が一丸となって促進していく必要がある。



出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

これからの関西観光

- この先の関西では、今後予定されている大規模プロジェクト等を好機と捉え、的確な取組を促進していく必要がある。
- 今般、関西の力を最大限に発揮すべく、行政・DMO・地域・企業等による連携協働体制「ONE関西」の旗印の下、<u>関西が一体と</u>なって取り組むための基本方針「関西ツーリズムグランドデザイン2025」が2022年3月に策定された。
- そこで、国が支援・実施する取組の基本的な方向性と、重点的に取り組むべき事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・ 関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」をとりまとめた。
- 大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプランに沿った様々な事業での新たなコンテンツ造成やICT技術等の活用によって、旅行需要・移動需要を創出し、旅行消費を拡大させ、万博の賑わいを全国へ広げ、関西から観光立国の復活を目指す。



万博の賑わいを、大阪の賑わい、関西の賑わいにつなげ、さらに全国へと広げることで、関西から観光立国の復活!

2023年 2024年 2025年

文化庁京都移転
うめきた(大阪)地下駅開業
ツーリズムFXPOジャパン2023大阪・関西

北陸新幹線開業予定 (金沢〜敦賀) うめきた2期地区先行まちびらき

大阪·関西万博

観光トレンドの変化への対応とマネジメントサイクル体制の確立







観光トレンドの変化への対応

【感染リスクを低減させるWithコロナ時代の新しい旅のニーズ】

〈例〉

- ◆ 1つの地域に滞在し、文化や暮らしを体験・じっくり楽しむ滞在型観光
- ◆ 時間と場所を分散する分散型旅行
- ◆ リアルでの訪問を避けるオンラインツアー 等



これらの新しい旅のニーズ(観光トレンドの変化)に対応して、 関西の観光回復に向けた次の取組を促進

(1) 旅行需要の変化を踏まえた新たな観光コンテンツ創出 (魅力向上)

(4)

(3)

- (2) 持続可能な観光地域づくり(地域の取組)
- (3) 観光業の体質強化(DXの導入等)

滞在型観光



様々な過ごし方を提案 【田んぼランチ】

オンラインツアー



パソコンを诵じて地域の 魅力を発信



出典:旅メディア「ことりっぷ」「あたらしい旅のカタチ」をテーマにした調査

観光トレンドの変化に対応するための事業マネジメントサイクル体制の確立

コロナ禍によって変化している観光トレンド(新しい旅のニーズ)に的確に対応できるよう、地域の実情に合ったマネジメントサイクル を回していくことで事業の効率化や改善につなげ、事業のクオリティを高めていくとともに他地域への展開を図る。

他地域への展開を図るとともに、 さらにレベルの高い取組を目指す

結果検証 解決策検討

事業計画策定

- ①事業計画を策定し、計画に沿った事業を実施
- ②進捗状況、成功・失敗要因の分析
- ③結果検証により課題抽出や解決策を検討
- ④検討結果の反映・目標設定等の事業計画を策定

事業実施

(2)

利用者・事業者の声を収集

進捗評価

関西の観光回復に向けて促進する取組





(1)旅行需要の変化を踏まえた新たな観光コンテンツ創出(魅力向上)

- ●これまでのような多人数による旅行ではなく、密が避けられる少人数旅行に対応したコンテンツの造成
- ●早朝・夜間の時間帯に現地体験コンテンツを提供することで宿泊を伴う旅行による消費の拡大
- ●文化財・美術品等にライトアップや特別拝観などを組み合わせる特別感の演出による高付加価値化

(2)持続可能な観光地域づくり(地域の取組)

- ●多様な時期、時間、場所等でのコンテンツ提供による混雑の分散化及び閑散期対策の促進
- 自然環境、文化、住民生活との共存を目指し、SDGsを踏まえた地域資源の保全・再生やマナーへの意識啓発の促進
- ●地域関係者が連携して、継続的に自立・自走できる観光地域づくりへの取組促進

(3) 観光業の体質強化(DXの導入等)

- ●業務管理や接客、移動、マーケティング、プロモーションなど、様々な場面でIT化やDXの導入によるデジタル強化で、 省力化や新たなビジネス展開等を実現
 - ◆経営改善・・・ これまでの紙媒体から<u>システム導入による業務管理</u>(システム化によるマーケティング)
 - ◆観光コンテンツ ・・・ ARやVR等を活用した付加価値の向上(体験価値の向上)
 - ◆観光地域づくり・・・・<u>デジタルマーケティングの実施によるデータ分析</u>で効果的な商品開発やプロモーションを推進

さらなる地域の魅力向上を通じて、地域住民の「当たり前の日常」と旅行者の「非日常」を両立させる好循環を実現

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す3つの視点





- 関西は、長い歴史と伝統文化・豊かな自然など多彩な地域資源があり、かつ、個性ある都市が利便性の高い交通ネットワークでコンパクトに結ばれている地域である。さらに、日本の玄関口の一つである関西国際空港を有し、広域周遊拠点としてのポテンシャルが高い。関西の地域資源を「点」ではなく「面」としてコーディネートしていくことが国際競争力のある観光地域として重要であることから、これら魅力ある地域資源と周遊拠点としてのポテンシャルを最大限発揮するために、「テーマとストーリー」「人材」「情報」の3つの視点で地域を「つなげる」ことで、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す。
- これら3つの視点で地域を「つなげる」にあたり、コロナ禍で変化している観光トレンドに柔軟に対応するため、旅行者の多様なニーズに応える新たなツーリズムの創出やデジタル技術の活用、様々なターゲット・マーケットへのアプローチを行っていく。

3つの視点で地域を「つなげる」

1. テーマとストーリー で 地域を「つなげる」

世界遺産を含む有形・無形の文化財をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然、多彩な食文化、歴史的建造物(古墳・城跡・社寺等)などの地域資源を活用して、共通のテーマとストーリーで地域をつなげる。

●サステナブル、ガストロノミー、アドベンチャー、歴史土木建築、 インフラ観光、産業観光、海事観光、地域交通との連携等

2. 人材で 地域を「つなげる」

これまで見逃されてきた地域資源を観光コンテンツとして活用していくため、観光地域づくりに従事している者、地域の魅力を良く知る者など、地域のステークホルダーの人材ネットワークを構築する。また、コロナ禍で悪化した収益を改善し、持続性のある観光地域づくりに取り組んでいけるDMOの人材を育成するなど人材で地域をつなげる。

●コロナ禍で喪失している関係者間のつながりやアップデートできていない地域情報の再構築 等



3. 情報 で 地域を「つなげる」

コロナ禍で変容している観光行動に的確に対応するには、 様々なデジタル技術等を活用した観光パラダイムシフトやメタ バースの導入等を加速させる必要がある。そのために、従来と は違う新たな観光に向けて官民が一体となった「ONE関西」 で取組を促進するなど情報で地域をつなげる。

- 関西MaaSの促進
- ●DXの推進によるXR等の導入
- ●高付加価値化による高単価サービスの提供 等

大阪・関西万博に向けて関西全体をパビリオン化





大阪・関西万博は、関西の観光と交通を回復させる最大のチャンス

1970年の大阪万博以来、55年ぶりに大阪で開催される「大阪・関西万博」は、世界的な注目が高く、来場者約2800万人を想定 している国を挙げて取り組む国際イベントであり、関西の観光・交通が復活するチャンスとして、この好機を最大限に活用する。

関西全体のパビリオン化に向けた取組内容

- 万博開催に向けて、**関西全体をパビリオン化**することで万博来場者の関西周遊を促進
- 万博来訪の前後期間を利用した誘客を行うため、各地域では、それぞれの地域性を活かした コンテンツ造成や観光の高付加価値化等の取組を推進
- 2023年夏リリース予定の「関西MaaS」と連携し、地域間のシームレスな移動を推進すると ともに、観光コンテンツを充実させて**関西全体の広域観光**を促進

例)



弘法大師生誕1250年 座像の限定公開(2023年)



姫路城世界遺産登録30周年 天守等の限定公開(2023年)



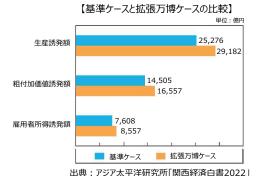


- ○経路検索 ○運行情報 〇予約,決済機能 ○観光情報、施設情報 ○サポート機能 ・観光レコメンド機能
 - ・アプリの多言語化 等
- ◆ 万博のコンセプトである「未来社会の実験場」やSDGsを意識した特別イベント等の実施 (社寺の特別拝観、音楽祭、ライトアップ、イルミネーション、食フェスタ 等)
- ◆ 地域間の移動に関西MaaSアプリを活用することで、交通機関の利用を促進



関西全体をパビリオン化した場合の波及効果

- 万博会場を中心として、関西全域に取組を拡げることで従来の万博以上の波及効果が期待できる
- アジア太平洋研究所によると、「基準ケース」(夢洲会場を中心として開催される場合)と「拡張 万博ケース※1」(関西全体をパビリオン化した場合)の経済効果を試算した結果、生産誘発額 3,906億円、粗付加価値誘発額2,052億円、雇用者所得誘発額949億円の上振れとなる ※2
 - ※1 拡張万博ケースでは、国内宿泊客は1泊延泊、訪日外客は3泊4日程想定から2泊延泊すると仮定している
 - ※2 各誘発額(県内生産額、粗付加価値額、雇用者所得額)は、各産業部門が最終需要額(投資+消費)によってどれだけ誘発されたものであるかを示したもの

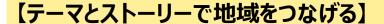


2022年度実施事業

テーマとストーリーで地域をつなげる ①







世界遺産を含む有形・無形の文化財をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然、多彩な食文化、歴史的建造物(古墳・城跡・社寺等)などの地域資源を活用して、共通のテーマとストーリーで地域をつなげる。

- 地域の自然・景観や遺産・資源等を適切に保護・保全しながら、旅行者にその魅力を提供可能とする持続可能な旅行商品 の造成に取り組み関西広域への周遊を促す
- これまで、地域住民が意識していなかった物事や営み等を掘り起こし、観光資源として磨き上げる

環境・保全(サステナブル)、食・料理と伝統文化(ガストロノミー)、自然・国立公園(アドベンチャー)、 古墳・古代建造物(歴史土木建築)、ダム・橋(インフラ観光)、酒蔵・モノづくり(産業観光)、 船旅・マリンレジャー(海事観光)、鉄道・バス等乗り物(地域交通との連携)、アニメ・マンガ(サブカルチャー) 等々

【2022年度事業】

淀川における舟運を活かした賑わいづくり

【淀川沿線地域】

淀川は古くから京都と大阪を結ぶ水上交通路として活用され、特に江戸時代に発展し流域に多くの文化が生まれた。京都・大阪は関西においての二大観光拠点であり、流域と連携した活用によって継続的な来訪や消費額拡大につなげることが可能となる。また、大阪・関西万博までに淀川大堰閘門が整備され、京都から大阪湾までの運航が可能となることから、万博会場へのアクセスも想定した京都~大阪を結ぶ淀川舟運のツーリズム化を推進する。

●実施主体:近畿運輸局/近畿地方整備局/大阪府市/船舶事業者 他

●活用事業:訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

(地方運輸局等実証事業)





河川遊覧のイメージ

テーマとストーリーで地域をつなげる②





泉州地域・和歌山市の鉄道路線を活用した看板商品の創出事業

【大阪府貝塚市、岬町、和歌山市】

多様な観光メニューのひとつにマニアツーリズムがある。大阪府泉州エリア〜和歌山市エリアにかけては、鉄道ファンにアピールできる 沿線の魅力あふれるローカル鉄道が複数あり国内外から熱い支持を受けている(特に台湾やリピーター等)。運転体験を実施 している水間鉄道・わかやま電鐵貴志川線をキーコンテンツとし、近接の南海電鉄多奈川線・加太線など単独ではアピールが 難しい路線も巻き込みつつ、大阪府泉州エリア〜和歌山市エリアを運行するローカル路線4線と周辺地域の観光資源を連携 させたコンテンツ造成、商品開発、販路開拓を行う。

●実施主体: KIX泉州ツーリズムビューロー / 関西エアポート

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業

列車の到着風景

実車での運転体験

日本遺産「飛鳥」を体感する体験型コンテンツ造成事業

【奈良県明日香村】

天皇の古墳の特徴でもある「八角形墳」が全国で最も多くある地域であり、天皇や蘇我氏といった権力者の古墳が集中している明日香村ならではの特徴を活かし、古墳をテーマに、「Trip Advisor」の世界の1%にだけ与えられるトラベラーズチョイスBest of Bestに認証された「sokoiko!サイクリングツアー」で周遊、日本遺産とそのストーリーを知り、ガイドや地域住民と交流しながら楽しく学ぶコンテンツ。2022年3月に新たに復元された「牽牛子塚古墳」や真の文武天皇陵説が高い「中尾山古墳」をクイズを交えながらガイドとめぐる参加者体感型ツアー。ツアーは1本の映画を見るかのように「起承転結」で展開されるストーリー性の高いもので、最後に参加者にメッセージを贈ることで感動を与えることができる。

●実施主体:大和飛鳥ニューツーリズム

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業

(文化資源連携型)

復元された「牽牛子塚古墳」



青空古墳カフェ

テーマとストーリーで地域をつなげる③





神仏習合の祈りの聖地、石清水八幡宮での空中茶室「閑雲軒」の復活と男山四十八坊の 賑わい創造にかかる実現可能性調査及びプラン策定事業

【京都府八幡市】

国宝・史跡である石清水八幡宮は、平安時代(貞観元年(859年))、八幡宮の総本社である宇佐神宮から男山の峰に 勧請された、国内で現存する最大かつ最古の八幡造の神社建築であり、神仏習合の宮寺として、男山山腹には寺院坊舎が屋 根を連ね、男山四十八坊として賑わった。坊の一つである茶室「閑雲軒(かんうんけん)」は、床面の殆どが空中に迫り出した 「空中茶室」ともいうべき構造であり、茶室として他に例を見ない、茶文化の象徴であった。

失った豊かな文化の象徴としてかつての空中茶室を再現するとともに、賑わいを創出することを目的として、「閑雲軒」及び男山四十八坊の活用方針、事業性、法的規制などのFS調査及びプラン策定を行う。

●実施主体:近畿運輸局 / 八幡市 / 京都山城地域振興社

●活用事業:将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業

TANK SON SUPER SPECIAL STREET

中茶室「開雲軒」の復活と男山四十八坊の賑わい創設コンセプトイメージ

日本三禅宗の一つ黄檗宗の大本山「萬福寺ランタン」ナイトコンテンツ創出事業

【京都府宇治市】

インゲン豆の由来となった隠元禅師によって開創された萬福寺の建造物は、中国明朝様式を取り入れた伽藍建築群であり、23棟、回廊、額などが国の重要文化財に指定されている。これらをナイトコンテンツとして磨き上げ、関西を代表するインバウンド向けの新たな風物詩として定着させる。

- ①「萬福寺ランタン |ナイトコンテンツ創出
- ②ナイトコンテンツ創出に向けた普茶料理や中国物産などのメニュー開発・販売
- ③モニターツアーの実施・観光商品の造成・販売

●実施主体:京都山城地域振興社/黄檗宗大本山萬福寺/宇治市観光協会



中国ランタン(灯籠)



普茶料理(中華風精進料理)

テーマとストーリーで地域をつなげる ④



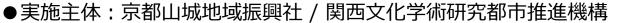


人々をつなぐ京阪奈ラボ&リサーチで遊ぼう事業

【京都府木津川市、精華町】

150を超える研究・教育関連施設を保有する関西文化学術研究都市(けいはんな地区)では、研究機関と地域住民が協力して高品質野菜の開発、自動運転バスの公道実証実験など先進的な暮らしが営まれている。けいはんな地区に点在する研究施設・大学・企業等、サイエンスのコンテンツを観光資源として開発し、「東のつくば」、「西のけいはんな」として定着させ、観光商品を開発するとともに2025年の大阪・関西万博を見据えて知名度を上げる。

- ①企業訪問を観光資源にする「大人の社会科見学ツアー」のルート開発
- ②生き物観察と国立国会図書館関西館、アニメのしくみ ファミリー自由研究ツアー
- ③アンチエイジング、お茶と美 美と健康の先端を学ぶ



●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業



大人の企業見学



子供の科学体験教室

和歌山城天守閣木造再建構想にかかる実現可能性調査事業

【和歌山県和歌山市】

和歌山城は御三家・紀州徳川家の居城であり、三層白亜の美しい天守閣は、姫路城、松山城と並んで日本三大連立式天守閣に数えられており、コロナ禍以前においては年間20万人超の入場があり、市の中心的な観光施設となっている。一方、天守閣は過去の鉄筋コンクリート造による再建から60年以上が経過しており、木造再建の可能性の検討を含め、各種課題の抽出を行うとともに、観光による地域振興に資する取組ができるのか同種の事例を参考に基礎資料及び検討課題の整理を行い、今後の

新たなブランド獲得、満足度の高い地域の観光施策プランへとつなげていくための 実現可能性調査を行う。

●実施主体:近畿運輸局/和歌山市

●活用事業:将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たな

レガシー形成事業



焼失前の天守閣(S10旧国宝指定)



再建時半年で36万人が来場

テーマとストーリーで地域をつなげる ⑤





トロッコを活用した新しいエコ/環境ツーリズム創出にかかる実現可能性調査及びプラン策定事業

【京都府南丹市】

京都府南丹市美山町の芦生原生林には、現在では廃線となった森林軌道という貴重な歴史遺産が存在している。本事業では、森林軌道(トロッコ)活かし、「学び」・「発見」という視点から、観光客に対してより満足度の高いツーリズムの形成を行うことを目的として、現代において「どのような価値やサービスを提供が可能」か、また、「地域の観光振興に資する取組ができるか」を 国内外の事例を参考に実現可能性調査を行う。

●実施主体:近畿運輸局/京都府/南丹市/南丹市美山観光まちづくり協会

●活用事業:将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たな

レガシー形成事業





芦生の森入口

白浜ランタンナイト・スターナイト事業

【和歌山県白浜町】

白浜を再び人々のロマンスがあふれる「ロマンチックなまち」として再興させるための看板商品を造成。飛鳥時代、白浜温泉を最初に見出した有間皇子は白浜の娘と恋に落ちたという説話があり、白浜温泉の重要な歴史として語り継がれている。

昭和には、白浜はハネムーンのメッカとして人気を博した。そんなロマンスの想い出の地として人々の記憶に残る白浜を、再び「ロマンチックなまち」として売り出していくため、夜空にロマンチックな輝きを放つ「ランタン」と「星空」、愛心あふれる歴史を持つ「白浜温泉」を掛け合わせる。初めて訪れた方に心に残る唯一無二な体験を提供するはもちろんのこと、再訪されたカップルや夫婦には、もう一度白浜でロマンスを感じていただけるような心ときめく感動体験を提供する。

●実施主体:南紀白浜観光協会/白浜町商工会/白浜温泉旅館協同組合



ランタンイベント

テーマとストーリーで地域をつなげる⑥





観光商品から関係商品へ。何度でも訪れたくなる、地域を買い支える関係創出型モデル事業

【和歌山県すさみ町】

地域との関わりを持とうとする法人や個人と共に「関係商品」のビジネスモデル造成に取組む。町長自らの繋がりを駆使したトップセールスで企業を呼び込み、一次産業の過酷な生産現場から学ぶ研修プログラムを第一に、その後関係を深化させていくこま会を通して看板商品を造成、地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけを提供する。その中で地域を買い支え、手助けをする関係を構築しながら、地域の課題やニーズと関係人口となる法人・個人の想いやスキルをマッチングするための中間支援機能を

形成する。ひいては「企業ポスト」の誘致と「ふるさと住民」の登録を目指す。 〈すさみの消えゆく伝統漁法ケンケン漁×企業との協業開発プロジェクト〉

●実施主体:すさみ町観光協会/すさみ町/道の駅すさみ

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の

創出事業







地元漁船に乗船~一本釣り~解体~即日しか食せない食材

劇場型周遊観光事業

【兵庫県加西市】

鶉野飛行場跡は旧海軍航空機パイロットを養成するために建設された旧海軍の航空基地跡であり、平和教育の場として注目されているが、通過型観光地となっていることが課題である。「鶉野飛行場跡」とかつての加西市の中心地であった「北条の宿」をローカル列車「北条鉄道」で繋ぎ、当時の海軍パイロット練習生の若者たちの体験を交えたパフォーマンスを展開し、当時の食事を再現したメニューを提供する。戦争と平和に対する思いを巡らせ、物語を伝承する劇場型周遊観光ツアーを造成する。また、ガイド・パフォーマーとして市民の参画を促進し、関係・交流人口の増加を目指す。

●実施主体:加西市劇場型周遊観光事業実行委員会

劇場型周遊 観光チラシ

soraかさい展示

テーマとストーリーで地域をつなげる ⑦





淡路島での癒しの体験を堪能して頂くための、島全体の上質化

【兵庫県淡路島全域】

『「はじまりの島」で、じぶんをリセットしよう。』とのコンセプトのもと、古くから伝わる伝統文化、 淡路島の豊富な食材や日本の原風景的な景観などを目当てに来島する観光客により 上質な滞在を提供できるよう、宿泊施設の外観や客室のハイクオリティ化(露天風呂 付客室化など)の改修、景観を損ねる廃屋の撤去などを実施する。

●実施主体:淡路島観光協会

●活用事業:地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業

「地域一体型」







淡路島全域での取組

客室のハイクオリティ化

「大人の学び場」紀南エリアとEバイクを活用した「楽しく学んでリフレッシュ」 持続可能なサイクルツーリズムのためのコンテンツ造成事業

【和歌山県すさみ町、上富田町、白浜町、古座川町】

熊野信仰を育んだ紀伊半島の雄大な自然、交通量の少ない幹線道路や独特の生活息吹が感じられる生活道路など、県南部のサイクリングに適した環境を広域に活用する。ジオガイドや空港施設で活動する人々との交流を通じ、旅行者がより深く地域を理解し学びを得ることで、愛着を持ち、再訪したいと感じるツーリズムを構築する。

さらに、団塊ジュニア、ミドルシニアを対象に地域の起業家をEバイクで訪問し、地域課題や事業展望に触れることで、自らのキャリアに気づきを得られる「セカンドキャリア支援」研修型サイクリングツアーコンテンツを開発する。さらに、ツアー予約を効率的にするためオンライン予約サイトの機能強化を図る。

●実施主体:紀南エリアサイクルツーリズム協議会/紀州くちくまの未来創造機構



テーマとストーリーで地域をつなげる 8





滋賀県甲賀市・甲賀忍者に学ぶ自然体験創出事業

【滋賀県甲賀市】

甲賀市は、忍者発祥地として名高く、忍者の里としての代表格。今でも市内には忍者に関連する施設や修行場所などのスポットが残っている。そんな甲賀市で、観光や料理、忍者等の専門家と地元事業者が連携し、忍者の「本当の姿」に迫った文化的な自然体験を造成する。甲賀忍者の修練場であった「飯道山修験道」などが残っており風景の中にはリアルな忍者の痕跡がある。

単なるコスプレやアスレチックの延長のようなエンタテインメント要素のものではなく、

忍者発祥の地にふさわしい「本当の姿」に迫ったものに仕上げる。

●実施主体:平和堂/甲賀市/未来づくりカンパニー

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業



甲賀流忍者自然体験



飯道山修験道

海を活用した新たな関西の周遊クルーズルートの構築事業

【関西国際空港を起点に、淡路島、鳴門、万博会場 等】

2025年の大阪・関西万博のコンセプトに「海の万博」が掲げられていることから、大阪湾等を活用した観光コンテンツを造成する。 万博来場者を始めとしたインバウンドを含む様々な旅行者に対して、海上交通を新たな観光コンテンツとして提供する。関西国際 空港や神戸空港〜目的地、海峡越えの目的地間等アクセスも兼ねた周遊クルーズルートを構築し、その需要が広域周遊につな がるかを検証することで、海上ルートの確保や遊覧コンテンツの造成につなげる。

●実施主体:近畿運輸局/関西観光本部 他

●活用事業:訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

(地方運輸局等実証事業)



大阪湾でのクルーズルート造成

テーマとストーリーで地域をつなげる 9





淡路島の歴史と自然をめぐる持続可能なバス旅ガイドツアー造成事業

【兵庫県淡路市】

着地型バス旅商品「バス旅あわじプレミアム」を軸に、二次交通としてコミュニティバスを利用し、ガイドがいるからこそ伝わる淡路島の魅力を凝縮したガイドツアーを造成。観光客だけでは見つけることの難しい淡路島の真の魅力に触れる商品を造成する。また、

自然や文化等に触れる商品を造成するだけでなく、魅力の最大化を可能とする観光ガイドを育成し、 淡路島観光ガイド付きバス旅商品として磨き上げる。さらに、淡路島への理解や繋がりを深め、地域 の文化や自然環境に配慮し、観光客と地元住民の相互にメリットのある商品にするとともに、魅力を 伝達するガイドを管理・育成する組織を設立し、採用や研修体制の確立・ガイド育成を行う。

●実施主体:淡路市商工会/本四海峡バス/淡路島観光協会 他

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業



バス旅あわじプレミアム

徳島空港を活用した空港アクセスバスの実証運行等

【兵庫県南あわじ市】

- ① 課題となっている淡路島南部への誘客促進として徳島空港を活用する。羽田空港と徳島空港を 結ぶ航空便の発着に合わせ、南あわじ地域の主要観光地である「福良」「イングランドの丘」を直 接結ぶ空港アクセスバスを実証運行する。
- ② 徳島空港から目的地までの乗継情報等が簡易に検索できる淡路島発着バス検索アプリを整備し、空港アクセスバスで直接行くことのできない他の観光施設や宿泊施設へのアクセス向上を図る。
- ③ 企画乗車券造成や地域内観光施設等及び旅行会社と連携したパッケージッアー商品の開発によるプロモーション活動により周遊促進を図るとともに観光需要検証のためのアンケートを実施する。
 - ※②③については、市独自事業として実施



徳島空港~南あわじ間のバスルートイメージ

●実施主体:みなと観光バス/淡路交通/近畿日本ツーリスト/南あわじ市

●活用事業:地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業「交通連携型」

テーマとストーリーで地域をつなげる ⑩





初秋の奥大和を歩く~県南部東部への誘客~

【奈良県上北山村、天川村、吉野町、曽爾村、宇陀市】

奈良県では、観光客が奈良市内に集中(奈良公園、東大寺等)していることから、県南部東部の魅力を発信することにより、 県内全域を周遊させ、宿泊者数の増加を図る。主要ターミナルの1つである大和八木駅を起点とし、そこで観光バスに乗り換え、 5市村が推奨するハイキングコース起点まで移動する。ハイキング終了後、地元の入浴施設や道の駅に立ち寄り、地元特産品等 に触れていただけるようにする。また、ツアー終了後にアンケート調査を行い、再来訪へとつなげていく。

●実施主体:奈良交通

●活用事業:地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業「交通連携型」

京都南部の奥座敷へ~ひとやすみ観光~

【京都府京田辺市】

大阪・京都・奈良の中間地点にあり、鉄道移動も便利ではあるが観光地への二次交通が少ないため観光大都市の「通過点」となりがちな京田辺市に、大阪市内から周遊ツアーバスを運行し、特産品である「玉露」やアニメ関連スポット、歴史遺産などのポテンシャルの高い観光資源をアピールすることにより、観光客を誘引し、交流人口を拡大することを目指す。地域の特産品である「玉露」をPRしていくため、女性客を中心としたプロモーションを行う。さらに、インバウンドの受入が可能となれば、ラッピングバスによる誘客も実施する。

●実施主体:西日本ジェイアールバスサービス/京田辺市/日本旅行

京田辺市観光協会 / 京都山城地域振興社

●活用事業:地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業「交通連携型」



観音寺ライトアップ&夜間特別拝観

テーマとストーリーで地域をつなげる ①







南紀那智勝浦温泉と世界遺産巡りツアー

【和歌山県那智勝浦町】

大阪バス近畿と那智勝浦観光機構の連携により、誘客減少対策として旅行手配企業と業務委託を行い、旅行会社に対する観光地再生の周知と南紀勝浦温泉・世界遺産の熊野古道等に関して滞在時間の増加と地域の周遊性向上を図る。地域が推進する活動に誘致することで、観光客のデータを収集・分析を進め、誘客増加による地域経済の再生を目指す。

●実施主体:大阪バス近畿 / 那智勝浦観光機構

●活用事業:地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業「交通連携型」



ツアーポスターイメージ

再びクルーズを安心して楽しめる環境整備

2023年春以降の国際クルーズを想定した関係業界団体によるガイドラインが策定・公表され、 日本における国際クルーズの受入を再開することとなった。

上記ガイドライン等を踏まえ、再びクルーズを安心して楽しめる着岸施設への対応や受入環境の整備を実施する。

●実施主体:港湾管理者、民間事業者等、連携:近畿地方整備局

●活用事業:国際クルーズ旅客受入機能高度化/国際クルーズ旅客受入機能高度化施設整備

クルーズの更なる寄港促進を通じた地域活性化事業

公共交通利用環境の革新等事業

海洋周辺地域における訪日観光の魅力向上及び安全安心な再開促進事業

港湾機能高度化施設整備費補助



クルーズ船の入港状況



感染症対策の状況 (消毒液の設置)

テーマとストーリーで地域をつなげる 12





観光客が訪れる拠点整備等

- 日本風景街道、ナショナルサイクルルート、道の駅、みなとオアシス等を核にした観光地づくり
- ほこみち (歩行者利便増進道路) を活用した賑わいのある道路の構築
- 河川を軸に沿線地域のにぎわいを創出する河川ツーリズムの推進
- 道の駅において、「Wi-Fiの整備」「外国人観光案内所認定の登録促進」「キャッシュレス制度」の導入
- 巨大な構造物のダイナミックな景観やインフラ施設の役割やつくられた背景が楽しめるインフラツーリズム等の推進





インフラツーリズム(天ヶ瀬ダム)



道の駅 (たいじ)

テーマとストーリーで地域をつなげる (3)





深日港・洲本港の航路再開に向けた取組

【大阪府岬町、兵庫県洲本市】

- 大阪府岬町と兵庫県洲本市では、両市町を中心とした広域交流の促進と地域の活性化を図るべく、かつて結ばれていた旅客船 の定期航路再開に向けた取組を進めている。
- 2017年度から深日港と洲本港とを結ぶ旅客船「深日洲本ライナー」社会実験を開始。以後、2018年度、2019年度と、3ヶ年連続で同社会実験を運航しており、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、2021年度から再開し、2022年度は6月から11月まで運航した。
- 岬町、洲本市、港湾管理者(大阪府、兵庫県)、近畿運輸局、神戸運輸監理部及び 近畿地方整備局からなる「深日港洲本港航路に関する連携協議会」を2016年4月に 設置し、航路再開に向けた課題抽出と、その解決に向けた検討を行っている。
 - 実施主体:深日港洲本港航路に関する連携協議会(事務局:近畿地方整備局)
 - 活用事業:地方創生推進交付金(内閣府)



深日 – 洲本航路イメージ



利用者の乗船風景



2022年度 運航ポスター

テーマとストーリーで地域をつなげる (4)





世界遺産のまち藤井寺におけるヒストリーツーリズム事業

【大阪府藤井寺市】

藤井寺市は、世界文化遺産である「百舌鳥・古市古墳群」を筆頭に独自の観光資源を持っている地域であり、藤井寺市内にある世界遺産と菅原道真公にまつわる道明寺天満宮を舞台に市内の飲食店や旅行会社と連携を行い、エリア一帯の魅力を体感できる日帰り滞在型コンテンツと旅行商品を造成する。

この事業を契機に「藤井寺エリア=ヒストリーツーリズムの発着地」という地域ブランドを構築し、 長時間滞在することが可能な着地型の観光地化を目指す。

●実施主体:藤井寺市観光協会

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業



ツアー広告

蒼の魅力「三田青磁」クラフトツーリズム事業 ~三田青磁×四季=五感で楽しむ「さんだ」~

【兵庫県三田市】

兵庫県三田市の名産である三田青磁は中国の龍泉青磁、韓国の高麗青磁と並び、世界三大青磁とも称される一品。三田 青磁に触れる仕掛けを設け、三田青磁と三田の春夏秋冬の「食」や「自然」とのコラボレーションを楽しむ体験型観光コンテンツ を造成する。「文化」「食」「自然」を堪能し、「三田」の職人技や本物を感じる滞在型観光モデルを目指す。

【体験型コンテンツ】

- ①三田青磁の陶芸体験
- ②フルーツ大福づくり体験
- ③三田青磁の絵付け体験
- ④三田夏野菜アート体験

●実施主体:三田市観光協会



三田青磁

テーマとストーリーで地域をつなげる (5)





重要伝統的建造物群保存地区・今井町で江戸時代にタイムスリップ! 茶人・今井宗久縁の地で当時の人々の生活を感じるお稽古体験整備事業

【奈良県橿原市】

橿原市の重要伝統的建造物群保存地区「今井町」を基点として、江戸時代の町人に親しまれた茶道や華道といった文化体験をコンテンツとして整備し、当時の日常を体験する。重要文化財「称念寺」を活用し、身も心も江戸時代にタイムスリップしたような演出を行う。また、江戸時代によく食されていた羊羹などの和菓子を開発し、今井町内の甘味処で「江戸時代の和菓子」と

「現代の和菓子」の食べ比べができるコンテンツを造成する。 ①江戸時代から町民に親しまれた「お茶席」「華道」体験

②重要伝統的建造物群保存地区「今井町」で和菓子食べ歩き

●実施主体:橿原市観光協会

●活用事業:地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業



和菓子の再開発 (イメージ)



称念寺

西ノ京地区における「ナイトタイムエコノミーの環境」の整備

【奈良県奈良市】

奈良市西ノ京地区は、奈良市観光における重要な地区の一つで、外国人観光客も多く来訪される地区である。その中の薬師寺は世界遺産「古都奈良の文化財」を形成する資産で、内外の観光客にも人気がある。また、大池は、池越しに薬師寺の遠望ができるスポットであり、薬師寺東塔・西塔を照らすライトアップ施設の機能強化を行うことで奈良市中心部を訪問した観光客を当地域に誘導し、夜間まで滞在を伸ばすことにより、宿泊率の向上等、滞在時間延長に繋げる。

●実施主体:奈良市

●活用事業:インバウンド受入環境整備高度化事業



薬師寺東塔•西塔

テーマとストーリーで地域をつなげる 16





持続可能な観光に資する取組の見える化の推進事業

【京都府京都市】

京都市では令和2年11月に「京都観光行動基準(京都観光モラル)」を策定し、同基準に沿った取組の普及・促進を行っている。本事業では、京都観光モラルの理念に即した取組を進める優良な事業者を可視化し、観光客が選択・利用しやすい環境を整備するため、「宣言事業者」の募集と情報発信を行う。また、観光事業者等を対象にコーディネーター派遣や勉強会を実施し、京都観光モラルの理念に即した優良な事業者を拡充させる。さらに、京都観光モラルの理念に即した商品・サービス等で構成するサステナブルなモデルツアーを造成し、参加者の行動・意識変容について調査・検証を行う。

●実施主体:近畿運輸局/京都市/京都市観光協会

●活用事業:サステナブルな観光コンテンツ強化事業



京都観光行動基準 (京都観光モラル) 推進宣言事業者

「コウノトリツーリズム」の確立に向けた観光コンテンツ強化事業

【兵庫県豊岡市】

豊岡市は日本で最後の野生コウノトリの生息地として知られ、人里でのコウノトリの野生復帰を目指し、人とコウノトリが共に生きるための取組を行っている。本事業では、コウノトリの野生復帰の取組の成果である「環境・産業・地域社会の循環から生まれたローカル資源」を高付加価値層が知的好奇心を満たし共感をもって体験できるツアーを造成して、販路形成のための情報発信を行う。専門家による現地調査と検討会、外国人専門家によるモニターツアー、ローカルガイド研修を実施し、ツアーの磨き上げを行う。また、地域住民と訪問者が交流し新たな価値を見出すコミュニティツーリズムの推進を目指し、地域住民のシビックプライドの醸成に資する取組として市民を対象としたモニターツアー及びセミナーを実施する。

●実施主体:近畿運輸局/豊岡市/豊岡観光イノベーション

●活用事業:サステナブルな観光コンテンツ強化事業

城崎温泉街

森のレストラン

テーマとストーリーで地域をつなげる ①





地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業

- ○「食」コンテンツからの新たな魅力発見!明日香村発・観光キラーコンテンツ構築事業(明日香村商工会)【奈良県明日香村】
- フルーツのまち紀の川周遊化構想~365日フルーツを楽しめる町~(紀の川フルーツ観光局)【和歌山県紀の川市】
- 三尾~京北「ウェルビーイングルート開発」(京都市観光協会)【京都市右京区(高雄・京北エリア)】
- 日本最古の官道"竹内街道"と南河内を学び、体験するツアーの開発(ハウスケアパートナー)【大阪府太子町】
- 有馬温泉クワ・ワーケーション(有馬温泉観光協会)【兵庫県神戸市北区有馬町】
- 薬草を活かしたビューティー&ヘルスツーリズム事業(神姫トラベル)【兵庫県丹波市】
- 癒しと健康のセラピーアイランド・淡路島~ヘルスツーリズムを核とした淡路島の魅力創出事業(淡路島観光協会) 【兵庫県淡路市・洲本市・南あわじ市(淡路島全域)】
- 聖徳太子「和の心」を学ぶ旅・周遊促進コンテンツの整備事業(WEST NARA 広域観光推進協議会) 【奈良県大和郡山市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・王寺町】
- 国宝・石清水八幡宮「祭祀と直会(なおらい)」によるユニークベニュー事業(京都山城地域振興社)【京都府八幡市】

等

広域観光促進のための受入環境整備

【インバウンド受入環境整備高度化事業】

- ○姫路城における「無料公衆無線LAN環境」の整備(姫路市)【兵庫県姫路市】
- ○明石駅周辺における「イベント開催等により賑わい拠点となる屋外広場」の整備(明石市)【兵庫県明石市】
- 〇宇治川周辺における「多言語案内板」の整備(宇治市)【京都府宇治市】

【インバウンド安全・安心対策推進事業】

○伏見稲荷大社における「観光施設等における感染症対策機器等(洋式便器)」の整備(伏見稲荷大社)【京都府京都市】

等

テーマとストーリーで地域をつなげる 18





広域観光促進のためのインフラ整備

- 高規格道路のミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化
- スマートインターチェンジの整備促進(※高速道路の平均インターチェンジ間隔は欧米諸国の平地部に比べて約2倍)
- 多様な交通モード間の接続を強化(バスタプロジェクトの推進) 神戸三宮

等

訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金

- ○「プラスワンナイト事業」推進のための関西全域のルートの強化(関西観光本部) 【伊勢~奈良、福井~琵琶湖東岸~伊賀、加太~徳島、若狭~京丹波】
- 通訳案内士によるコアなニーズに対応する高額消費者層向けツアー造成促進事業 (関西観光本部) 【大阪市・亀岡市・宇治市・明日香村】
- 万博を見据えた"KANSAI"の食のツーリズム化促進事業(関西観光本部)【関西広域】
- 関西観光地づくり支援調査事業 (関西観光本部) 【関西広域】
- ○「The Origin of Japan, KANSAI」関西のサスティナブル・ツーリズム調査・戦略策定事業(関西観光本部)【関西広域】
- 行動履歴分析による仮説構築および保有データを活用した仮説検証調査の結果を踏まえた戦略策定 (関西観光本部)【関西広域】
- Re-DISCOVER HYOGO 兵庫の魅力再発見コンテンツ造成事業(ひょうご観光本部)【兵庫県・摂津、播磨、但馬、丹波、淡路】
- ガイド育成を核とした地域探訪型サイクルツーリズム推進事業(ひょうご観光本部)【兵庫県・淡路島、播州姫路、丹波篠山】
- ○「紀伊半島」エリア受入関係構築および周遊・滞在促進事業(奈良県ビジターズビューロー)【奈良県・熊野・+津川村・天川村・吉野】
- ○「世界遺産吉野」を知る・見る・学ぶ体験コンテンツ造成販売事業(吉野ビジターズビューロー)【奈良県吉野町】
- 泉州地域におけるインバウンド向けガイドツアーの造成(KIX泉州ツーリズムビューロー)【大阪府南部泉州地域】

等

人材で地域をつなげる ①





【人材で地域をつなげる】

これまで見逃されてきた地域資源を観光コンテンツとして活用していくため、観光地域づくりに従事している者、地域の魅力を良く知る者など、地域のステークホルダーの人材ネットワークを構築する。また、コロナ禍で悪化した収益を改善し、持続性のある観光地域づくりに取り組んでいけるDMOの人材を育成するなど人材で地域をつなげる。

- 地域の観光に関連する様々な人材や業種等を連携させるネットワークを構築する
- 長引くコロナ禍での現地訪問機会の減少によって、喪失している関係者間のつながりやアップデートできていない地域情報の再構築を図る

【2022年度事業】

観光地域づくり人材ネットワーク構築事業

自治体、観光有識者・専門家、交通事業者、民間で観光に取り組む者、 さらに、観光以外の業種に携わる人々をネットワークによって連携させ、観光 地域づくりを促進させるための地域プラットフォームを構築する。

●実施主体:近畿運輸局

●活用事業:観光振興調査事業における運輸局実施事業

Withコロナ / Afterコロナの観光地経営戦略研究会

Withコロナ期の観光戦略は、これまでとは違う思考で取りまとめなければならない。一方で、Afterコロナでは日本訪問を希望する海外からの声が届いている。そこで、大学との共同企画で国際的な人の往来が解禁される時に備えて「地域の観光マーケティング主体としてのDMO」と「地域の観光政策を担う行政」関係者を対象とし、今後の観光による地域づくりや

地域の活性化に必要な知見を実践者とともに学んでいく。

●実施主体:近畿運輸局

●活用事業:広域周遊観光促進のための観光地域支援事業における運輸局実施事業



WEB配信による研究会の様子

人材で地域をつなげる ②





"京北エシカルヴィレッジ"構想 ~ギフトエコノミー(贈与経済)の開発による地域貢献型交流の創造~

【京都市右京区京北地域】

京北(けいほく)地域の豊かな森林、農業を生かして若者・よそ者が寄り付く第2のふるさとづくりを目指す。

- ① 地域内の研修施設「あうる京北」等を拠点とし、地域内外の事業者が連携する"企業向けのワーケーション型研修"を造成
- ② 地域通貨(LOGトークン)による経済圏を創出し、地域住民と来訪者のコミュニケーションツールを構築
- ③ 地域コンシェルジュ育成 他

●実施主体:京都ゼミナールハウス(あうる京北)/京都市観光協会

●活用事業:「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業





拠点:あうる京北/ことす京都

地域に通う、心が通う、課題解決型ラーニングツーリズム事業

【京都府南丹市美山町】

UNWTOのBTV(ベスト・ツーリズム・ビレッジ)で選出された京都府南丹市美山町で来訪者をまちづくりの協力者(準住民)と捉え、地域課題等を地域住民や課題解決の最前線に立つ事業者と交流しながら学び、企業活動や教育活動と結びついた、地域密着の課題解決型研修プログラムを開発し、以下の3点の仮説を産学連携で実証する。

- ① 企業、教育研修に特化したプログラム提供は来訪者の再訪意欲を創出し、延泊数増、関係人口増につながり、持続可能な観光地経営につながる
- ② 地域が一体となった事業展開は来訪者の満足度向上につながる
- ③ CRM(顧客管理システム)の運用により、来訪者と持続的な関係が保たれ、来訪者の横の繋がりから創造的なアイデアが生まれる(企業×学生のイベント等)

●実施主体:南丹市美山観光まちづくり協会

●活用事業:「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業





地域密着、課題解決型研修

人材で地域をつなげる ③





ホテルコンシェルジュネットワークの活用による観光コンテンツ訴求事業

ホテルコンシェルジュが有する旅行者ニーズと観光地域づくりステークホルダーが提供しているコンテンツをマッチングするための情報 交換の促進やターゲットに対する的確なコンテンツ(例:富裕層向けの特別感のあるハイクオリティな体験等)が提供可能と なるよう、双方のコミュニケーションを高める場を創出する。

●実施主体:近畿運輸局/関西観光本部

●活用事業:訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

(地方運輸局等実証事業)



ホテルコンシェルジュを対象としたコンテンツ体験実地研修及びオンライン配信

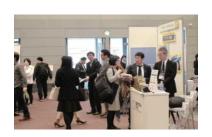
関西インバウンド交流会開催支援事業

関西のインバウンド関連のキーパーソンが集まり、最新の注目テーマに関する多数のセミナーを開催するとともに60社・団体を超える観光関連事業者の製品やサービスの展示を行う。主催者である広域連携DMOの関西観光本部と連携し、関西インバウンド交流会の事務局運営を支援する。この交流会を通じてキーパーソンの相互交流が深まり、関西のインバウンド事業の発展にもつなげていく。

●実施主体:関西観光本部/近畿運輸局

●活用事業:広域周遊観光促進のための観光地域支援事業に

おける運輸局実施事業



交流会(ビジネスマッチング)の様子



、材で地域をつなげる ④





近畿観光まちづくりコンサルティング事業

【大阪府阪南市】

阪南市は海と山に囲まれた自然豊かな地域であり、大阪湾で初めてカキの養殖に成功するなど、魅力ある地域資源を有してい るが、宿泊施設が少なく観光客の滞在時間が短いなどの課題を抱えている。本事業では、魅力ある観光まちづくりを通じた地域 の活性化を促進するため、観光有識者や旅行業者等のメンバーからなる「近畿観光まちづくりアドバイザリー会議」を開催して、 地域の抱く課題感や求めるターゲット層、目指す方向性などをヒアリングする。また、意見交換および現地視察を通して検討を

進め、地域の観光による活性化に向けた計画や取組のヒントとなるような助言等を 取りまとめた「観光まちづくりへの提案書」を交付する。

●実施主体:近畿運輸局

●活用事業:観光地域動向調査事業





カキ小屋の視察

スカイドーム阪南

高付加価値旅行層の満足度を高めるコネクション力向上に向けた 地域・ランドオペレーター等意見交換会

関西で活動するランドオペレーター等と地域の関係者(ステークホルダー、自治体、DMO等)を 集めた意見・情報交換会等を開催し、コロナ禍で分断された関係者間のコネクションの再構築お よび更なる連携促進を図ることで、高付加価値旅行に精通したトラベルデザイナーとしての機能を 強化し、高付加価値なインバウンド観光地づくりに繋げる。

●実施主体:近畿運輸局

●活用事業:広域周遊観光促進のための観光地域支援事業に

おける運輸局実施事業



意見交換会オンライン配信の様子

【オンライン開催】近畿運輸局観光部主催 新しい 観光創出セミナー ~上質な旅づくりに向けた通訳 ガイド、ランドオペレーター、旅行会社の現場から の提案~



情報で地域をつなげる ①





【情報で地域をつなげる】

コロナ禍で変容している観光行動※に的確に対応するには、様々なデジタル技術等を活用した観光パラダイムシフトやメタバースの導入等を加速させる必要がある。そのために、従来とは違う新たな観光に向けて官民が一体となった「ONE関西」で取組を促進するなど情報で地域をつなげる。

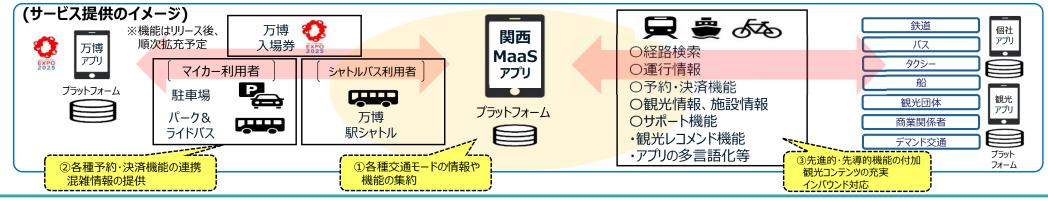
- ※多人数から個人・少人数、対面サービスから非接触・非対面サービス、宿泊施設での部屋食や個室風呂の要望、パッケージツアーからSIT、 周遊バスからパーソナルモビリティへの選択等
- 個人旅行者が容易に観光情報を入手できて、かつ、移動利便性が高まる「MaaS」の導入促進
- 観光DXの推進や地域資源や観光コンテンツでのXRの導入等
- より少人数の旅行者に対応していくための高付加価値による高単価サービスの提供

【2022年度事業】

関西MaaSの構築に向けた取組

- 2025年に大阪・関西万博を控える中、MaaSの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を共同で実施することを目的として、官民による会議体「関西MaaS推進連絡会議」を設置(令和3年12月)。
- 令和4年11月8日、第2回推進連絡会議を開催し、
 - ・関西MaaSアプリについて、2023年夏に第1弾のリリースを予定していること
 - ・関西MaaSのサービス構築や運営を担い、会員の拡大と外部事業者などとの連携を担う オープンな組織として「関西MaaS協議会」を設立すること などを発表。
- ⇒関西MaaSを軸に、交通政策と観光政策を一体的に進めることで、関西全体の周遊性を大幅に向上させ、関西経済の活性化につなげる。





情報で地域をつなげる ②





メタバースでの訪日外国人を対象としたインバウンド向け観光アプリ「TRAVEL CONTENTS」の情報発信と 安全・安心で快適な関西への旅行の受入環境の評価・検証事業

安全情報や交通情報など行政機関が有する情報に加えて、飲食・買い物・レジャー施設・観光施設など民間事業者が運営する情報などを一元化し、訪日観光客に向けて発信する。従来、複数のプラットフォームに分散していた観光客が必要とする情報が一つのアプリに集約され、利便性が高まることが最大の特徴。また、本アプリでは、関西での滞在期間中だけではなく、滞在前の「旅マエ」や帰国後の「旅アト」の段階でも利用できるサービスやお得情報を発信する予定で、関西への旅行体験をより便利で魅力的なものにする。

●実施主体:近畿運輸局 / チームKANSAI

チームKANSAI: 関西広域連合/関西経済連合会/関西観光本部/大阪観光局/

関西エアポート / ユー・エス・ジェイ / 西日本旅客鉄道 / 近畿運輸局

●活用事業:訪日外国人旅行者の受入環境に関する検証事業





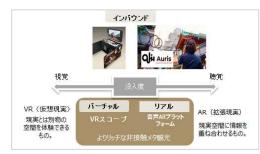
Travel Contents APP

デジタルとリアルを掛け合わせた「価値ある非接触観光推進事業」

姫路城では、積極的に先端観光(AR/VR)を推進してきたが、訪日外国人によるVRを活用した観覧推進に苦戦している。コロナ禍において、観覧手法に制限を受ける中でも、最新のデジタル技術を活用することで、今までにはない、新しい姫路城の観覧スタイルを開発し、世界各地からさらに注目を集めるような新しい価値観による観覧体験の提供により、インバウンド需要復活につなげる。

●実施主体:近畿運輸局/関西観光本部

●活用事業:訪日外国人旅行者の受入環境に関する検証事業



■ VRスコープ: https://www.himejicastle.jp/vr.html

■音声ARプラットフォーム(Auris): http://auris-ar.com/



専用アプリを現在の門に合わせると、 攻撃されるような映像が見られる。





動画のコレクション機能やARポイント、デジタルマップで周辺の観光オススメポイントを見る事が可能。



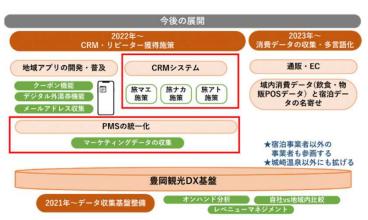


"まち全体が一つの温泉旅館"のDX化実現事業

【豊岡市城崎温泉】

豊岡市、豊岡観光イノベーション(DMO)、城崎温泉の事業者が、城崎温泉全体の宿泊予約情報や宿泊プラン在庫情報等を自動集約し、データを図表化・可視化して観光地マーケティングに活用するシステム「豊岡観光DX基盤」を構築した。この「豊岡観光DX基盤」により、地域全体あるいは個別の宿泊施設において、現時点と前年同時点の宿泊予約状況を比較することができ、また個別の宿泊施設が自施設と地域全体の予約状況や予約単価を比較できるようになる。豊岡市や豊岡観光イノベーションは、タイムリーに必要な施策が打てるようになり、個別の宿泊施設はレベニューマネジメントが可能となる。それだけでは"まち全体が一つの温泉旅館"のDX化は実現しない。次のステップとして、顧客との関係を維持・向上させるためのCRM機能が必要である。

城崎温泉の宿泊施設においてPMS(宿泊の管理システム)の統一化を進めるとともに、豊岡観光DX基盤を活用したCRM (顧客管理)システムを開発することにより、消費行動を把握し、その情報をもとに「顧客との関係を維持・向上させるためのアクション」を導き出して実行していく仕組みを構築する。2023年度以降には、飲食店、物産店のPOSデータも観光DX基盤に集約し、地域を訪問する顧客データを統合的に分析し、より成果につながる施策が打てる仕組みまで発展させることを視野に入れてシステム開発を行う。



システム拡大・展開のイメージ



「ふらっと、リトリートTOYOOKA」冬のキャンペーン

●実施主体:豊岡観光DX推進協議会

●活用事業:持続可能性の高い観光地経営の実現に向けた観光DX推進緊急対策に係る実証事業

情報で地域をつなげる ④





デジタル技術の導入による観光案内機能強化

【京都府京都市】

京都市では、AIによる観光プランの提案機能等を搭載した多言語観光案内WEBサイトを新たに整備するとともに、同サイトと連携した多言語観光案内端末を京都総合観光案内所(「京なび」)や市内各所の観光スポット等に配置するとともに、京なびの接遇・

案内機能向上を図ることにより、観光客の分散化や広域周遊促進にも資する、訪日外国人旅行者にとって

満足度の高い観光案内サービスを提供する。

①AIチャットボットの導入

②多言語観光案内端末(多言語対応機器)を設置 等

●実施主体:京都市/京都市観光協会

●活用事業:インバウンド受入環境整備高度化事業



設置端末のイメージ

チャットボットのイメージ

109言語観光コンシェルジュ実証事業

【大阪府大阪市】

109言語の自動翻訳機能を用い、観光案内所のノウハウを活かした超多言語観光案内を実現する。難波観光案内所においてアンケート収集による観光客の質問事項の傾向分析を行い、大阪観光局のデータマネジメントプラットフォームにマーケティングデータを取り込むことで、スタッフの提案力とサービス提供の高度化に向けた実証を行う。将来的にはAIチャットボット導入による効率的な

運用と自主財源獲得スキームの構築により持続可能な観光案内所モデルを追求するとともに、 日本の観光ショーケースとして案内から予約・発券までのワンストップサービスおよび全国への 送客機能を果たすNEXT観光案内所を目指す。

●実施主体:大阪観光局

●活用事業:DXを活用した外国人観光案内所機能強化実証事業



事業イメージ図

【参考】

令和4年度 補正予算案

※2022年度(令和4年度)補正予算案の代表的な事業を掲載しています。

観光再始動事業





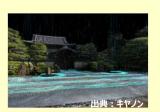
- 2025年に向けてインバウンドの本格的な回復を図るため、全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる取組を集中的に実施
- 地域の関係者の発意による**特別な体験や期間限定の取組**等を全世界に発信しつつ、モデルツアーの造成も通じ、誘客の促進に つなげる

文化、自然、食、スポーツ*等の多岐にわたる分野で、特別な体験や期間限定の取組の創出、イベントをフックとした誘客の促進、 体験コンテンツの高付加価値化等を支援

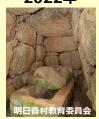
※ 世界遺産・日本遺産・伝統芸能・アート・ポップカルチャー・国立公園・自然景観・スノーリゾート等の多様な観光資源を想定

※個々の取組はイメージ

特別な体験の提供



建仁寺での最新技術を 活用した映像体験 (京都府) 2022年



都塚古墳の内部公開 (奈良県)

2022年



姫路城世界遺産登録30周年 天守等の限定公開 (兵庫県)



2023年

弘法大師牛誕1250年 座像の限定公開 (和歌山県)

2023年



明王院五重塔の内部公開 (広島県)

2024年



正倉院関連イベント (奈良県)

2025年

大自然の魅力を活かした新たな体験の提供



阿寒摩周国立公園での 夜間イベント (北海道)

2022年



高級ホテルの開業予定 ニセコ町(北海道)

おけるゴンドラ増設 2023/2024年



黒部宇奈月キャニオンルート開 業(富山県)

2024年

イベントをフックとした誘客の促進



ジブリパーク開業 (愛知県)

「和食」 世界遺産登録10周年 2022年11月 2023年



スノーリゾートに

世界遺産登録を目指す 「伝統的酒造り」 2024年



世界陸上 瀬戸内国際芸術祭

2025年

海外への発信



特設ウェブサイト (イメージ)



プロモーションはJNTOと連携

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業





○ 本格的な再開が見込まれる**インバウンドの地方誘客や観光消費の拡大**を促進するため、観光事業者が 連携して**インバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる**取組を支援する。

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた磨き上げ(イメージ)



- ✓「禅」をテーマとした体験型コンテンツ
- →訪日外国人が「禅」の精神を理解できるような思想の深堀り・ ストーリー構築を実施



- ✓ 和紙制作の体験コンテンツ
- →和紙の歴史や工程を理解を促すコンテンツを多言語で 整備するとともに、職人と訪日外国人の交流の機会を創出

補助対象者	地方公共団体、DMO、民間事業者(民間事業者においては、地方公共団体との連携が必須)
補助対象経費	・旅行商品等の企画・開発費 ・モデルツアー実施費 ・国、地域毎のインバウンド促進に専門性を有する有識者等からの意見聴取に係る経費 等

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化





- 宿泊施設、観光施設等の改修、廃屋撤去、面的DX化などの取組の支援について、**計画的・継続的に支援できる** よう制度を拡充する。
- 上記を通じて、インバウンド需要を回復・拡大し、**コロナ禍からの需要回復**、地域活性化を実現し、**円安のメリット も最大限活かして地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化を図る**。

① 地域計画の作成支援

※ 自治体・DMO等の地域を代表する団体が取りまとめて作成

中長期的な観光地の再生・高付加価値化プラン(地域計画)の作成に向け、

・地域の合意形成、・地域再生のコンセプトづくり、・個別施設の改修計画の磨き上げ、・資金調達、などの点について、地域の取組を国が支援(専門家派遣等の実施)

② 地域計画に基づく事業支援(例)

宿泊施設の高付加価値化改修

観光地の面的再生に資する宿泊施設の大規模改修支援



廃屋撤去

観光地の景観改善等に資する廃屋の撤去支援





観光施設改修等

- 観光地の面的再生に資する土産物店や飲食店等の改修支援
- ・公的施設への観光目的での改修 支援



面的DX化

観光地の面的再生に資する 面的DX化支援



地域一体となった



地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化「交通連携型事業」





交通事業者が、地域の観光資源とタイアップし、観光イベントの実施、車両等の観光資源化・関連施設の高品質化等により、地域の 集客力とアクセス性の向上を両立しつつ、**地域観光の高付加価値化**を目指す事業の取組について支援を行い、もって、観光地の魅力向上と交通事業者の高品質化の両立を図る。

支援スキーム

交通事業者が、地域の観光関係者と連携して、

観光地への誘客、地域内の周遊性の向上、観光地としてのブランド力の強化に資するような取組等を支援。 ※いずれも観光地、観光施設、宿泊施設等の利用者増加や収益力向上の効果が見込めるものであること。

【観光事業者】(観光関係事業者等最低1者)







【交通事業者】(バス、タクシー、鉄道、旅客船事業者等最低1者)







支援事業例

事業費の1/2を補助(イベント開催経費、企画乗車船券、プロモーション経費、実証運行、車両改造費等から複数メニューを実施)







訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業





○ インバウンドの本格再開に備え、ストレスフリーで快適な旅行を満喫できる環境や災害など非常時における安全・ 安心な旅行環境の整備に加え、宿泊施設、観光施設等のサステナビリティの向上に関する取組等を支援する。

訪日外国人患者の受入機能強化・ 観光施設等における危機管理対応能力強化

■ 訪日外国人患者受入機能強化





・翻訳機器の整備

・キャッシュレス決済環境 の整備

■ 感染症対策等の危機管理対応能力強化





•避難所機能強化

・災害時の多言語対応強化

事業主体: 観光施設等

宿泊施設・観光施設の サステナビリティ強化支援

■ 宿泊施設、観光施設等における 省エネ設備等の導入支援



・省エネ型空調



•太陽光発電

事業主体:宿泊事業者、観光施設等

交通サービスインバウンド対応支援

■ 交通サービスの受入環境整備



・段差解消(エレベーター)



・UDタクシー



•携帯型翻訳機



・観光に資する車両(サイクルトレイン等)

事業主体:交通事業者等

〇その他、空港における旅客手続き等の環境整備、インバウンドの受入環境の高度化を支援

【参考】

令和5年度 予算概算要求概要

※2023年度(令和5年度)概算要求の代表的な事業を掲載しています。

新たな交流市場の創出事業





○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人々の行動様式・生活様式・労働様式は変化しニーズが多様化している。

〇ポストコロナを見据え、地域との関係性構築を通じて、継続した来訪を促進するための<u>「第2のふるさとづくり」</u>、企業と地域による<u>ワーケーション</u>の取組や将来にわたって旅行者を惹きつける新たな<u>レガシー形成</u>により、国内外の観光需要を喚起し、交流人口や関係人口の拡大、地域活性化を図る。

「第2のふるさとづくり」の普及・定着及びワーケーションの推進

- ・ **自然環境に触れる旅**、田舎にあこがれを持って**関わりを求めるニーズ**があることを踏まえ、「第2のふるさと」をつくり、「何度も地域に通う旅、帰る旅」の創出を図る。
- ・ 令和4年度事業を踏まえると、例えば、学びや地域貢献などの価値をどれだけ多面的に創出できるか、来訪の度に新たな学びがある深い体験ができるか、来訪後の関心の継続性等の課題が明らかになっている。令和5年度は、継続した来訪を促進するための戦略策定、地域の受入体制整備に取り組む必要があり、地域との交流の拡大、滞在環境・移動環境の整備に向けたモデル実証等を実施する。
- ・ また、**ワーケーション推進**に当たっては、これまでの取組を踏まえ、企業による地域貢献など、**企業のニーズを踏まえた取組**等が必要であり、企業の意向改善や地域の受入体制整備に向けたモデル実証等を実施し、裾野の拡大に取り組む。



地域住民との交流を深めつつ野菜収穫を体験 (第2のふるさとづくりの事例)



企業が地域でグループワークを実施 (ワーケーションの事例)

将来にわたって旅行者を惹きつける 地域・日本の新たなレガシー形成

- ・ 将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながるレガシー形成が重要。
- ・地域と連携しながら、レガシー形成に関するFS調査や調査結果を踏まえたプラン作成等を行う。



ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業





〇ポストコロナを見据え、観光地・宿泊施設・公共交通機関の各場面において、ストレスフリーで快適な旅行を満喫できる環境及び災害など非常時においても安全・安心な旅行環境の整備を行うとともに、オーバーツーリズムの防止等により、地域・旅行者の双方がメリットを享受できる環境づくりも念頭に、持続可能な観光地域づくりに資する環境整備の促進を図る。

- 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備の取組を支援
 - 自然環境、文化等の地域資源の保全・活用



- ・有料トイレの整備
- ・入域料の徴収のためのシステム整備

等

■ オーバーツーリズムの未然防止



- ・混雑平準化のためのシステム (混雑状況の可視化等)の整備
- ・マナー啓発に必要な備品、施設等 の整備

等

- 観光施設等における危機管理対応能力強化・訪日外国人患者の受入機能強化に向けた取組を支援
 - 感染症対策等の危機管理対応能力強化





- •感染症対策強化
- •避難所機能強化
- ・災害時の多言語対応強化

■ 訪日外国人患者受入機能強化



・翻訳機器の整備 等

■ 災害時等における 観光危機管理計 画の策定及び訓 練の実施を支援

- 滞在・移動空間の快適性や利便性等の向上に向けた取組を支援
 - ストレスフリー・バリアフリーな宿泊環境整備



非接触チェックインキーレスシステムの導入



・客室・浴室のバリアフリー化 等

■ 交通サービスの受入環境整備



・段差解消 (エレベーター)



・UDタクシー



•携带型翻訳機



•観光列車

」!

持続可能な観光推進モデル事業





- オーバーツーリズムの未然防止や、地域の自然・文化や生業等の保全・活用にかかる「持続可能な観光の推進」は世界的な関心が高まる中、インバウンドの本格的な再開に向けて観光関係者が一体となって取り組むべき喫緊の課題。
- 人材育成支援等を通じた地域におけるマネジメント体制の構築を促進し、「持続可能な観光」を推進する上での裾野拡 大を図るとともに、地域の課題解決の支援を通じて優良モデルの構築を行う。
 - (※) 国際観光機関(UNWTO)における「持続可能な観光」の定義: 訪問客、業界、環境及び訪問客を受け入れるコミュニティニーズに対応しつつ、現在及び将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光

持続可能な観光地域づくりに向けた課題

✓ 一過性の対応に終始するのではなく、<u>長期的な視野</u>に立った観光マネジメントの一環として、<u>地域社会における経済利益・コミュニティ・旅行者・文化資源・環境等に対する利益の最大化</u>等の様々な側面への影響を考慮し、地域の観光関係者等が<u>共通の目的や役割を共有しながら、計画</u>の策定・推進に取り組むことが必要。







<マナー違反>

【主な事業】

①持続可能な観光の推進における優良モデルの構築

観光を活用して持続的な地域マネジメントが期待できる自治体等において、実証事業を通じてオーバーツーリズムの未然防止等の地域の課題解決に取り組み、より強固な観光地マネジメントを確立する優良モデルの構築を行う。

②持続可能な観光の推進に意欲的な地域を対象とした人材育成 地域の観光関係者に対し、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づく持続可能な観光 を実践する研修プログラムの実施等を行う。



日本版持続可能な観光 ガイドライン(JSTS-D)

DXや事業者間連携等を通じた観光地や観光産業の付加価値向上支援 🔮 🗵 土交通省





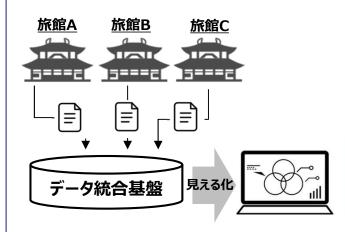
観光産業の生産性向上等を図るため、地域内の宿泊施設における予約・在庫等に関するデータの共有と利活用を 促進するとともに、地域の参考となるような、観光産業と他業種との連携における先駆モデル創出を目指す。

施策イメージ

宿泊施設のデータを活用した 地域全体の生産性・収益力向上

宿泊施設におけるPMS等のシステムを地域共 通の基盤に接続し、予約・在庫等のデータを 地域の関係事業者と共有化することで、需要 予測に基づく最適な在庫管理や価格調整を 可能にし、地域が一体となった生産性・収益 力向上を実現する。

(対象:宿泊事業者、温泉街等)



地域内・地域外における異業種連携の促進

観光産業だけでなく、福祉産業、イベント・スポーツ産業など異なる業種との連携を促進すること で、観光産業の生産性向上に加え、旅行者の利便性向上、観光地経営の改善を実現する。

観光産業の生産性向上

宿泊施設を最大限に有効活用し、異業種間で 連携することにより売上安定化、販路拡大、地 域を巻き込んだマーケティングの活性化等を図 ※単独の取組ではなく、地域における多様な連

携、地域への裨益効果を高められるような取組 等を重点的に支援。



宿泊施設での福祉事業の実施 等 宿泊施設の有効活用による売上安定化

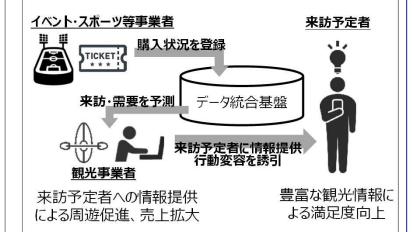


異業種連携の促進

旅行者の利便性向上、観光地経営の高度化

イベント、スポーツの興行主等が来場者の顧客データ 行動データ等を周辺の自治体、DMOに共有すること で、自治体・DMOではデータに基づいたマーケティング が可能となり、より旅行者のニーズに即した情報提供 が可能となる。

また、同様のデータをイベント、スポーツの興行主等の 間で連携することで、相互送客が可能となり、旅行者 数の増加、消費額の向上を実現。



観光地・観光産業再生のための人材育成・確保等事業





課題

○他産業と比較して、低い収益性や生産性、賃金水準の改善に向けて、稼げる地域・産業を担う人材の育成・確保が必要。

- ○観光産業の現場の担い手が不足。
- ○将来の観光産業人材の確保とともに、地域人材の中から潜在的な「観光人材」を掘り起こし、多面的に育成することが必要。

必要な取組

- ○稼げる地域・産業の実現を担う人材育成に向けてリカレント教育の強化や産学官連携の促進を通じ、IT、マーケティング、会計、ファイナンス、マネジメント、地域振興の知見・スキルを習得する環境の整備を図る。
- ○担い手の裾野の拡大のため、外国人を含めた多様な人材の確保を図る。
- ○地域活性化の観点から「観光教育」を捉え直し、各地域に根ざした人材育成の取組(*学校教育に限定されない)を推進する。

教育未来創造会議 第一次提言(R4.5.10)(「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」)(抄)

- ④地域におけるデジタル・グリーン分野等の人材育成(抄)
- ・大学等におけるリカレント教育の強化や産学官連携の促進等を通じた、ITやマーケティング、地域振興の知見・スキル等を有する観光人材の育成を推進する。

参考:「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会(最終とりまとめ)」、「新しい資本主義のグランドデザイン・フォローアップ」

(事業概要)

地域づくり人材・産業人材育成

〇ポストコロナ時代に求められる観光人材育成プログラムの広域展開

- 産学連携協議会(※)において指針準拠の教育プログラムを検討
- 上記プログラムの周知、活用の働きかけ(教材開発、HP掲載、業界団体への周知等)

(※) 産学が連携した協議(産学連携協議会)の場の設置(R4~)

- DMO、大学、専門学校、民間事業者が参加
- 「施策の効果検証に関する調査」「産業界や地域のニーズに対応した 教育プログラムに関する調査」を踏まえた人材像・スキルの明確化
- 産業界のニーズを反映した教育プログラムの指針を作成

○優れた観光産業人材の育成支援

• 現場受入型研修 (OJT)の実施 等

人材確保

〇外国人材の確保

- 外国人材と宿泊施設のマッチング支援(国内、海外)
- 宿泊事業者等への制度周知セミナー
- 外国人材受入れに意欲的な地域への専門家派遣
- 情報管理システム等の保守・運用

地域活性化のための観光教育

〇地域活性化のための観光教育の展開

- 従来型の「観光教育」の枠組みにとらわれない「観光人材」の育成に取り組む優良事例を広く収集
- 地域のDMO・自治体・学校・業界、関係団体等の連携による、地域 活性化に資する「観光教育」の取組を支援(持続可能な観光の観点 も留意。既存の小中高の観光教育プログラムも改良)